

たかしま

Takashima City
Public Relations

広報

2017
平成 29 年
12 月号
No. 215

特集 将来にわたり安心して暮らせる
高島市を目指して・・・ ②

- ・交通事故を起こさないために ⑥
- ・「#タカシマノアサヒ」キャンペーン開催中 ... ②4

主な内容



いっしょにまかせ〜

さばびあん
くつき鯖街道鯖美庵まつり

11月4日(土)に道の駅くつき新本陣で開催されました。昔の行商人の姿で「鯖カレーばん」が販売されたり、特設うまいもん屋台市が開催されたり、盛りだくさんのイベントでにぎわいました。

無料アプリ「マチイロ」で広報たかしまが読めます！

「広報たかしま」はスマートフォンアプリ「マチイロ」でも配信しています。スマートフォン等から当アプリをダウンロードしてお使いください。

※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者のご負担になります。

マチイロ

検索

高島市公式

フェイスブックと Instagram で情報発信中！

こちらの名前でそれぞれ検索してご登録をお願いします。
・Facebook「あっと高島」 ・Instagram「takashima city #たかP写真館」

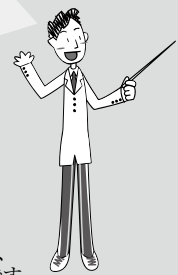


イメージキャラクター
「たかP」

特集 高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略 将来にわたり安心して暮らせる高島市を目指して

高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本目標

4つの基本目標ごとにさまざまな事業を実施し、相乗効果を発揮することで将来的に安心して暮らせる高島市を目指しています。



- ①高島における安定した雇用を創出する
雇用創出数 …… **5年間で500人**
- ②高島への新しいひとの流れをつくる
転入者数 …… **5年間で2,500人**
- ③若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる
出生数 …… **5年間で1,500人**
- ④時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
小さな拠点数 …… **5か所**

※総合戦略期間は、平成27～31年度です

※上記目標は、平成27年の総合戦略策定時のものです。

【雇創創創】

◎特産品海外販売戦略事業

全国シェアの90%を市内で生産している綿クレープ「高島ちぢみ」の国内市場が縮小する中、吸湿性にすぐれ、さわやかな着心地が得られる特性を生かし、高温多湿の東南アジア諸国に向けた販路開拓調査を実施してきました。



現地デザイナーとの商談のようす

者が赴き、平成28年度からは、高島帆布の販路開拓調査も加えて、これまで以上にインドネシア、マレーシア、台湾で調査を行い、現地量販店や百貨店での催事出展のほか、国際的なファッション見本市への出展、現地デザイナーとの商談を行ってきました。

こうした取り組みは、市内若手事業者の意欲向上にもつながり、現在では、独自で他国調査も実施されているほか、取り組みが国内



高島晒協業組合に新たに入社された皆さん(後列左から角さん、川島さん、南部さん、志村さん、前列左から中村さん、井ノ口さん)

井ノ口さんの感想

引継ぎ中は、初めて聞く言葉が多かったのですが、できることが増えてくるとやり甲斐を感じます。高島ちぢみの海外での展開を知って、カッコイイなと思いました。高島ちぢみを若い人にもっと知ってほしいです。

中村さんの感想

高校の時の職場体験で仕事に興味を持ちました。仕事では、商社の方とお話する機会もあります。「頑張ってるね」と言われると、とても嬉しいです。夏だけでなく、冬でも着ることが出来る高島ちぢみが増えるといいなと思います。

※高島晒協業組合は、市内で織られたちぢみの生機の洗浄や漂白、プリントなどの加工を行っています。

◎企業誘致推進事業

平成27年3月に廃校となった津西小学校の跡地活用策として、菌床きこの類の生産にあたる共栄精密株式会社(本社・東近江市)を誘致しました。

しいたげやキクラゲなどのきのこ類は、中国などからの輸入も多いため、近年、食の安全安心に対する消費者意識の高まりから、国内産品の需要が増大しています。これを受けて、滋賀県内での生産拠点拡大を希望していた共栄精密の今津西小学校活用案が検討され、トップセールスによる誘致が実現しました。

平成28年4月には、市と会社との間で事業推進に関する協定を締結し、市内での原材料調達や生産技術の普及のほか、地域雇用の拡大などにも努めていただいています。

また、同社は障がい者の雇用にも積極的に取り組まれており、市内の福祉施設から派遣されていた3人の方が、本年10月から同社に直接雇用されることになりました。

右：協定締結式のようす
下：教室を利用した菌床キクラゲ栽培



加えて、同社が生産するきのこは、市内量販店や飲食業者にも納入されているほか、ふるさと納税の返礼品にもなっており、今後の産業振興にも期待が高まっています。

◎雇用創出に向けたこれまでの取り組み評価

雇用の創出については、総合戦略でも取り組んでいる「実践型地域雇用創出事業」において、発酵分野や農林業分野を中心に、平成27・28年度の2か年で142人の雇用創出を実現したほか、今後予定される会員制リゾートホテルやグランピング施設の開業など、相談・検討中の企業誘致案件も含めて、500人の目標を上回る見込みと考えています。

【転入促進】

◎移住・定住 コンシェルジュ事業

市では、2人の移住・定住コンシェルジュをおき、市で暮らしたいという方に向けたきめ細やかな相談体制を整えるほか、大阪や東京などの都市圏で開催される移住相談会などにも参加し、移住者の獲得に努めています。

また、市では「地方公共団体無料職業紹介事業者」の認可を取得



コンシェルジュによる都市圏での移住相談会

し就職を希望される方に対して、職業相談を実施しているほか、市内の不動産業者と連携して、「空き家紹介システム」を構築することで、仕事と住まいを含めた細やかな移住相談体制を整えています。

こうしたこともあって、移住相談件数や移住実績は近年増加傾向にあります。目標には届いておらず、依然として市内若者の転出が多いという課題があります。

に取り組んでいます。

こうした取り組みの成果により、平成27年に300人を割り込んだ出生数も、平成28年には312人に回復しています。

一方、結婚から子育てまでの切れ目ない支援を行う「出会いから子育てまでの支援事業」においては、近年結婚相談が増加していることから、結婚支援に関する取り組みを強化していくことが検討課題となっています。



【5人】

○これまでの取り組み評価

人口減少と高齢化の進展により、地域活動の維持が困難になっているなどの集落の課題をお聞きするとともに、未来の集落のあり方を住民の皆さん自身で考えていただく機会として、市では平成27年度から「集落座談会」を開催し、平成27年度に2地区、平成28年度

○びわ湖高島
ブランド戦略推進事業

市外の方に高島の魅力を知ってもらい、市民も高島に誇りを持ってその魅力を自ら発信できるよう、WEBマガジン「高島の食と人」の取材と発信を進めてきました。



「高島の食と人」第3話「柿の桃源郷」より

市ホームページから下記バナーをクリックするとWEBマガジンがご覧いただけます。



には12地区にお伺いしました。

人口減少により、市の財政も今後大変厳しい状況になる中で、将来にわたって持続可能な高島のあり方を考えるため、地域に本当に必要なサービスのあり方や、それを担うための市と住民の皆さんの役割分担などを、一緒に考えていく時期にさしかかっています。

今後、こうした集落座談会を実施し、地域課題の把握と自立的な課題解決への機運づくりに取り組んでいきます。

※今年度から広報誌では毎月「集落座談会」のようすについて紹介しています。今月号は「打下区(14ページ)」を紹介していますので、併せてご覧ください。



集落座談会のようす

秋冬の高島の食とそれにまつわる人やその暮らしが、市民公募のライターやカメラマンによる取材で、36ストーリー、全108編発信してきました。

さらに平成28年度からは、その魅力を実際に体感していただく「サトパスツアー」も実施し、市外からの誘客にも取り組んできました。

11月9日には、こうした活動の報告会として「第7回ディスプレイ高島会議」を開催し、市内外100人を超える方々と一緒に、これからの高島の魅力の発信について考えました。



熱気にあふれる会場

○転入促進に向けた
これまでの取り組み評価

転入促進については、毎年、1千人を超える転入があるものの、それを上回る転出が続いており、平成27・28年度とも、数百人の転出超過となっています。

コンシェルジュを通じた移住件数も、戦略期間中の目標250件に対し、平成27・28年度累計で75件と大変厳しい状況です。

一方で、市としては転入者獲得は不可欠な取り組みでもあることから、移住者の住宅確保や仕事のマッチング支援を強化するとともに、京阪神に重点を置いた出張相談事業などに引き続き取り組んでいきます。

【出生数の維持】

○これまでの取り組み評価

市では、全国各地からいただいた「ふるさと納税」での寄付金を活用して、中学生までの子ども医療費の無料化、妊婦健診の全額助成、多子世帯の第2子以降の保育料無料化などを実施し、子育て世代の負担をやわらげるまちづくり

○総合戦略の
評価検証体制について

総合戦略の評価検証については、産業、学識、金融、言論、市民活動などの各分野や行政関係者等、26人の外部委員からなる「サステイナブル高島ネットワーク会議」において、年間4回程度の会議を実施し、事業担当課との意見交換も交えながら、評価検証を行っています。

また、こうした意見交換に加え、市内で起業や事業拡大を目指す人に対して自身ならどういったサポートができるかについて話し合ったり、市の政策課題について理解を深めていただく機会も創出するなど、高島市の総合戦略を多様な方々で進めていく機会づくりにも努めています。



サステイナブル高島ネットワーク会議

高島市
まち・ひと・しごと
創生総合戦略

市ホームページから上のバナーをクリック！
関連情報から「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証結果」をご覧ください。



平成28年度までの総合戦略の評価検証結果の詳細は、市ホームページからダウンロードできます。

総合戦略課

☎(25) 8114

交通事故を起こさないために

12月1日～31日は年末の交通安全県民運動期間です

年末は、交通死亡事故や重大事故が多くなる傾向があり、また、飲酒する機会も増えることから、県民総ぐるみで交通事故防止の徹底を図りましょう。まずは、家庭や職場、地域内で交通ルールの遵守や思いやり運転の実施など「事故を起こさない」、「事故に遭わない」ように次の事項を参考に呼びかけや話し合いを行いましょ。

【呼びかけ事項】

《家庭では》

- ▼出かける際に、「交通安全」などについて「ひと声」かけましょ。
- ▼シートベルトは全ての座席で着用し、チャイルドシートは、体格に応じたものを正しく取



- り付けて使用しましょ。
- ▼運転手は、絶対にお酒を口にしないように家族みんなで取り組みましょ。



《職場、地域では》

- ▼会合や朝礼などの人の集まる機会に、危なかった（ヒヤリ、ハツとした）体験談の話し合いなどにより交通マナー向上や危険箇所の情報共有などを行いましょ。
- ▼帰宅や買い物などの交通が集中する時間と日没が重なる時間帯は、特に注意喚起を行いましょ。
- ▼シートベルト着用による被害軽減効果などを学ぶ機会を設けましょ。
- ▼ハンドルキーパー（飲酒せずに仲間や同僚を自宅に送り届ける人）を決めましょ。

岡サーフティーたかしま交通安全推進協議会（交通政策課） ☎(22) 0058

12月4日から10日までは人権週間です

岡人権施策課 ☎(25) 8524

人権週間は、家庭で、職場で、学校で、家族と、友達と、みんなと、人権を考える1週間です。男女差別や障がい者差別など、あらゆる差別や偏見をなくし、みんなが明るく暮らせる社会を作るためには、私たち一人一人が、人権について正しく理解し、周りの人の人権を尊重する意識を持つことが大切です。人権のことについて相談のある方は、お問い合わせください。

- 【全国共通人権相談ダイヤル】 ☎0570(003)110
- 【子どもの人権110番】 ☎0120(007)110
- 【女性の人権ホットライン】 ☎0570(070)810
- 【大津地方法務局人権擁護課】 ☎077(522)4673

《 特設人権なんでも相談所 》
 相談無料。予約不要。秘密厳守。
 ▶日時 12月4日月 13時30分～16時
 ▶場所 マキノ保健センター、今津老人福祉センター、朽木保健センター、安曇川公民館、高島支所、観光物産プラザ

一人でも悩まず相談を

【固定資産税】家屋の新增築等には手続きが必要です

岡 税務課 ☎(25) 8116

固定資産税は、毎年1月1日時点に所有されている土地、家屋、償却資産に対して課税される税金です。次の場合は税務課または支所に手続きをお願いします。

- ▼家屋を新築または増築されたとき 建築工事の完了後、速やかにご連絡ください。
- ▼家屋を取り壊されたとき（全部または一部）「建物滅失届」を提出してください。
- ▼家屋の所有権を移転されたとき
【不動産登記されている家屋】 年内に法務局で所有権移転登記を完了してください。（登記に関する問合せ先…大津地方法務局高島出張所 ☎(22) 2352）
【不動産登記されていない家屋】 「未登記家屋の所有者変更届」を提出してください。
詳しくはお問い合わせいただくか市のホームページをご覧ください。



税金の納め忘れはありませんか？

岡 県税…滋賀県西部県税事務所高島納税課 ☎(25) 8012
市税… 高島市役所納税課 ☎(25) 8522

皆さんから納めていただく県税や市税は、福祉、教育など住民の方々への身近な行政サービスに使われる大切な財源です。

県と市では、12月を「ストップ滞納!! 強化月間」として、税の公平な負担の観点から、一斉に滞納整理を強化します。

未納のまま放置されますと、預貯金・給与等の差押えや自宅などの捜索を行うことがあります。もう一度、納め忘れがないかお確かめください。

滞納額縮減のため、
滋賀県と高島市が
共同で徴収業務
を行っています

除雪作業はご協力ください

迅速で円滑な除雪作業のために、次の3点について皆さんのご協力をお願いします。

- 路上駐車をしないでください！
除雪作業が遅れたり、できなくなったりします。また、事故の原因にもなりますので、路上には駐車をされないようお願いします。
- 目印をつけっぱなし！
石垣や庭木などは、除雪作業時に確認ができず破損する恐れがあります。赤い布切れなどを付けた2m程度の竹竿を立ててください。目印をお願いします。
- 枝打ちをすっぴんください！
道路際の竹や木などが、降雪や着雪により道路側に倒れ、通行の妨げになります。土地所有者で枝打ちや伐採をお願いします。

※除雪作業の際、雪のかたまりが宅地の出入り口をふさぐことがあります。ご理解とご協力をお願いします。



岡土木課 ☎(22) 2001

12月3日～9日は障害者週間です

地域で 障がいのある人と 共に暮らすことについて考えてみませんか？

「障害者差別解消法」は、障がいがあってもなくても、だれもが分け隔てなく尊重して暮らしていけるよう、差別を解消し、共生の地域社会を実現することを目指し制定されています。

◎合理的配慮の提供

障がいのある人が日常生活などで受けるさまざまな制限の原因となるバリアを取り除くために、個別の状況に応じて行われる配慮をいいます。

◎不当な差別的取扱いの禁止
「見えない」「聞こえない」「歩けない」といった機能障がいや知的・精神障がいを理由にして、差別を禁止しています。

〈例1〉障がいを理由に、必要がないにもかかわらず介助者の同行を求めるといった条件をつける。

〈例2〉本人を無視して介助者だけに話しかける。
〈例3〉今まで利用していたが、障がいがあるとわかった途端、利用を拒否された。

平成29年度高島市障がい者虐待防止普及啓発事業

「障がいのある人もない人も 誰もが住みやすい高島市に」

「障がい者の権利擁護や虐待防止の基本的な視点」

権利擁護の視点を学び、権利侵害や虐待を未然に防ぎ、一人一人が大切にされるための地域づくりを市民の皆さんと福祉関係者がともに学び考える機会にさせていただきます。お気軽にご参加ください。

- 日時 12月9日(土) 13時30分～15時30分
- 場所 今津東コミュニティセンター
- 主催 高島市障がい者自立支援協議会
- 高島市障がい者相談支援センターコンパス

☎(22) 55553

障がい福祉課

☎(25) 8516

誰もが安心して暮らせるまちにするためには、ちょっとした配慮や気付きが大切です。

『お酒とのよい付き合い方』



年末・年始にかけては、飲酒の機会が多くなります。適量なら「百薬の長」ともいわれるアルコールですが、続けて飲むと自分でも気づかぬうちに徐々に量が増えて、体に影響が及びやすいという性質も持っています。そうすると「百薬の長」ならぬ「百害の長」に。それでは、“適量”とはどのくらいなのでしょう？

品名	度数 (商品により差があります)	量
ビール	5度	中ビン1本 (500ml)
日本酒	15度	1合 (180ml)
焼酎	25度	0.6合 (110ml)
缶チューハイ	5度	1.5缶 (520ml)
ワイン	14度	180ml

性別や年齢によっても違い、女性はこの1/2～2/3程度、高齢者も量を控えた方がよいとされています。次の10か条を参考に、ほどよい距離を保ちながら、健康で長く、よいお付き合いをしたいものです。

- 一、談笑し、楽しく飲むのが基本です
- 二、食べながら、適量範囲でゆっくりと
- 三、強い酒 薄めて飲むのがオススメです
- 四、つくろうよ 週に2日は休肝日
- 五、やめようよ きりなく長い飲み続け
- 六、許さない 他人(ひと)への無理強い・イッキ飲み
- 七、アルコール 薬と一緒に危険です
- 八、飲まないで 妊娠中と授乳期は
- 九、飲酒後の 運動・入浴 要注意
- 十、肝臓など 定期検査を忘れずに

なかには、「酒をやめないといけない・・・でもやめられそうにない。」と悩んでいる方もおられるかもしれません。全国でアルコール依存症患者は100万人以上、予備軍は約10倍と推測されています。1日3合以上の飲酒者は要注意です。

県内にアルコール治療をしている医療機関や相談窓口、酒害から回復した当事者団体「断酒同友会」などもありますので、勇気を出して相談してみませんか？ まずはお電話ください。

☎健康推進課 ☎(25) 8078



こんちゃん ぱすくん



受章おめでとうございます 秋の叙勲・危険業務従事者叙勲

栄えある平成29年秋の叙勲および第29回危険業務従事者叙勲の市内受章者を紹介します。(順不同)

叙勲

《旭日小綬章》 地方自治功勞

宮内 英明 さん 元高島市議会議員

《旭日双光章》 薬事功勞

戸井 一郎 さん 元(社)滋賀県薬剤師会副会長

《瑞宝小綬章》 警察功勞

大磯 隆行 さん 元京都府七条警察署長

危険業務従事者叙勲

《瑞宝双光章》 警察功勞

内藤 弘 さん 元滋賀県警部

《瑞宝双光章》 防衛功勞

三矢 公一 さん 元2等陸佐

《瑞宝单光章》 防衛功勞

川岡 俊一 さん 元3等陸尉

《瑞宝单光章》 防衛功勞

長倉 欣作 さん 元3等陸尉

圖 総務課 ☎ (25) 8000

圖 ごみ減量対策課 ☎ (25) 8123
環境政策課 ☎ (25) 8104

身近な環境広場

もったいない!
食品ロスを減らしましょう!

食品ロスとは、「まだ食べられるのに、捨てられる食べ物のこと」です。

日本では年間約621万tの食品ロスが出ていていると言われています。(一人あたり、毎日お茶碗約1杯分)

※環境省ホームページより

食品ロスは少しの工夫で減らすことができますので、食品ロスの削減にご協力をお願いします。

～フードドライブを開催します!～

・日時 12月3日(日) 13時～16時
・場所 ガリバーホール

「もったいない」を「ありがとう」へ

フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を持ち寄り、それらを福祉団体などに寄付する活動のことです。

【当日寄付していただきたい食品】

缶詰、インスタント食品、菓子類などを会場へ持ってきてください。詳しくはお問い合わせください。

- 買った物は、必要な食材だけを買う。
- 食材を無駄なく全て使いきる。
- 外食時、小盛りメニューなどを活用し、食べ残しをなくす。



たくわ!食品ロス

環境センターでは、監視強化のため毎月1回、ダイオキシン類の測定をしています。今後も引き続き監視を行い、環境センターの適正運転に努めます。

測定日	測定結果	法基準値
平成29年 10月19日	0.14ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g